

## 1. 調査報告概要表

作成日 平成21年4月8日

## 【認知症対応型共同生活介護用】

## 【評価実施概要】

事業所番号	2772501132
法人名	社会福祉法人 池田さつき会
事業所名	グループホームポプラ東山
所在地	池田市東山町555-1 (電話) 072-753-6009

評価機関名	社会福祉法人 大阪府社会福祉協議会
所在地	大阪市中央区中寺1丁目1番54号 大阪社会福祉指導センター内
訪問調査日	平成21年3月19日

## 【情報提供票より】(平成21年2月10日事業所記入)

## (1) 組織概要

開設年月日	平成17年11月1日		
ユニット数	2ユニット	利用定員数計	18人
職員数	19人	常勤	11人, 非常勤 8人, 常勤換算 13.0人

## (2) 建物概要

建物構造	鉄骨造り		
	2階建ての	1階	～ 2階部分

## (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	75,000円	その他の経費(日額)	750円/1日	
敷金	②(300,000円)	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	②(400,000円)	有りの場合 償却の有無	② / 無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり 1,500円			

## (4) 利用者の概要(平成21年2月10日現在)

利用者人数	18名	男性	4名	女性	14名
要介護1	2名	要介護2	6名		
要介護3	6名	要介護4	4名		
要介護5	0名	要支援2	0名		
年齢	平均 81歳	最低	71歳	最高	92歳

## (5) 協力医療機関

協力医療機関名	回生病院、協立病院、ペリタス病院
---------	------------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

周辺には山々があり、季節の花が植えられた庭があるなど、環境や設備の整った2ユニットのグループホームです。グループホームの他、広い敷地の中には同法人の特別養護老人ホームも併設しています。管理者は「一人ひとりの心に耳を傾け、一人ひとりの尊厳を大事に丁寧なケアを」を目標にしています。池田市介護相談員の来訪もあり、地域、家族との連携や住民のつながりが深まりました。毎日の散歩を通して、近隣の方に挨拶をしたり、野菜や果物を頂いたり、ホーム側も空き缶やタバコの吸い殻を拾ったりしています。夏祭りに利用者は浴衣姿で参加し、家族が出店を運営するなどの協力もあります。夕方には盆踊り大会も催され、地域の方々やボランティアの発表の機会を設けています。利用者の誕生日には茶話会を催し、利用者の家族が集まって大切な交流の場を提供しています。健康管理委員会や防災委員会を中心に、緊急時の対応や勉強に取り組んでいます。毎晩好きな銘柄を選び、晩酌を楽しむ方もいます。

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連科目:外部4)
	前回の外部評価結果で示された事項について、検討・改善を行っています。運営推進会議の要綱を作成しています。その他の改善項目については具体的な検討を行い、改善計画を立てて取り組んでいます。
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	今回の自己評価については、管理者を中心に全職員に記入してもらい、リーダーとの話し合いと職員の意見を反映させています。
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	運営推進会議の要綱を作成しています。また、会議録で家族、地域包括支援センター職員、福祉相談員、自治会代表など出席者が確認できます。会議で得た意見をサービス向上に活かせるように努めています。また運営推進会議を通して、地域の催しに参加させてもらっています。
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	家族の訪問が多く、その都度利用者の状況、職員の異動等報告しています。また、家族の面会時には担当の職員が詳しく伝えていきます。必要に応じて電話連絡や、茶話会の席上でも家族へ報告を行っています。ユニット毎に発行している「かりんだより」、「ぼづらん新聞」は写真入りで利用者の様子を伝えています。毎月発行の「カレンダー」紙上ではホームの行事や予定を紹介しています。ほぼ毎月、利用者の誕生日に合わせて茶話会を開催し、意見や要望を聞いています。玄関に意見箱を設置しています。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
重点項目④	法人全体として自治会に加入しています。地域の行事に参加したり、散歩の時には近隣の方に挨拶を交わしたり、野菜をいただく等、交流を図っています。グループホーム主催の夏祭りには、地域の老人会やボランティアの協力がありました。老人会よりグランドゴルフの招待があり、また近所の水路掃除にも参加しています。

## 2. 調査報告書

(  部分は重点項目です)

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「利用者様と家族様、そして職員の笑顔あふれる「生活の場」、地域住民やボランティアの方々との「交流の場」、高齢者介護における実践と、情報発信基地としての「福祉拠点の場」の3つを理念として掲げています。特に管理者は「一人ひとり相手のことを思いやって信じたり心配したり、お互いに助け合ったり共存していくこと」を重視しています。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	職員は定例会議の中で理念について確認し、利用者一人ひとりの意見や希望に沿えるように努めています。また、利用者一人ひとりの心に耳が傾けられるよう取り組んでいます。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに務めている	法人全体として自治会に加入しています。地域の行事への参加や、散歩時には近隣の方に挨拶をして野菜をいただく等、交流が始まっています。グループホーム主催の夏祭りには、地域の老人会やボランティアの協力があります。グランドゴルフの招待を受けたり、近所の水路掃除にも参加したりしています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	前回の外部評価結果で示された事項について、検討、改善を進めています。運営推進会議の規定を作成しています。しかし、家族の書類確認のサインや押印の記録、職員異動時に家族や利用者への報告、介護計画見直し時のモニタリング、重度化や終末期の対応指針を作成し説明を行う、鍵をかけないケアへの取り組み、災害時対策の備蓄等については、まだ改善には至っていない状況です。自己評価については、管理者を中心に全職員にも記入してもらい、意見を反映させています。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議の要綱を作成しています。また、会議録で家族、地域包括支援センター職員、福祉相談員、自治会代表等、出席者が確認でき、会議で得た意見をサービス向上に活かせるように努めています。また運営推進会議を通して、地域の催しに参加しています。今年度は委員の改選もあり、今後も継続して2ヶ月毎に会議を開催できるよう準備を行っています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	9	○ 市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会づくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市主催の会議や介護相談員の会議へ積極的に出席しています。認知症ケアの実践については市からも評価され、よりよいサービスが提供できるようホームより発信し、スキルアップを目指しています。地域や家族には認知症についての理解を得られるよう勉強会を開催しています。また市の認知症ネットワークについても準備を行っています。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○ 家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	家族のホーム訪問が多く、その都度利用者の状況、職員の異動等を報告しています。必要に応じて家族へ電話連絡も行っています。また家族も参加する茶話会の席上でも近況報告を行っています。ユニット毎に発行する「かりんだより」、「ぽぷらん新聞」、毎月行事案内が記載された「カレンダー」の紙上も家族へ送付しています。金銭管理については、立替分の領収書コピーを利用料と共に請求しています。しかし、家族から確認の署名押印を得ていない状況です。	○	今後は家族が書類等を確認した際、署名押印や日付を書面で残すような取り組みが求められます。
8	15	○ 運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ほぼ毎月、利用者の誕生日に合わせて茶話会を開催し、意見や要望を聞いています。また、家族の面会時には、担当の職員が詳しく現状を伝えています。玄関に意見箱を設置しています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	開設以来、職員の異動や離職は最小限に抑えるように努め実現しています。新しい職員が入る時は業務マニュアルでホームへスムーズになじめるよう工夫しています。各ユニット発行の便り「かりんだより」「ぽぷらん新聞」にて新任職員の紹介をし、家族の交流会やお知らせで報告しています。認知症の利用者にとってなじみの関係は大切なことであり、今後とも異動を最小限に抑えることが期待されます。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	毎月併設特養と共同で勉強会を開催しています。「感染症」、「緊急時対応」、「認知症」、「身体拘束」、「虐待」についての講習会も施設内で実施しています。同じ研修が月に数回あり、勤務に合わせて参加することができます。外部研修については個人参加を支援しています。研修に参加した職員は報告書を提出し、伝達研修も行っています。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	池田市にある8ヶ所のグループホームで連絡会が発足され、2ヶ月に1回交流会を開催しています。また、法人内グループホームの勉強会や意見交換の機会を作っています。また、大阪認知症高齢者グループホーム協議会にも加入し、共に学ぶ機会を得ています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	ホームで生活リズムをつかめるよう支援を行い、馴染みの関係を築き、本人が安心して利用できるよう働きかけています。また、自宅や入所施設を訪問して面接の機会を作るほか、本人や家族にホームを見学してもらい、ホームでの生活に納得が得られるよう努めています。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は利用者主体での生活を大切にしたいと考えています。毎日の散歩や買い物、食事の準備に参加してもらう等、日常での行動を通して、一方的な支援ではなく、相互に信頼関係を築くことに配慮しています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	職員は、利用者の希望や意向の把握に努めています。入居時にできるだけ家族から情報を聞き取り、意思疎通の困難な方には家族や関係者から今までの暮らしぶりについて伺ったりしています。利用者が希望する、毎日の散歩や入浴についても支援しています。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	ケアなど、毎日の申し送り事項は口頭と記録にて職員間で共有しています。ケース会議は毎月開催され介護計画の作成につながっています。利用者や家族の意見も取り入れています。また、アセスメントシートには、利用者の生活歴やライフスタイルが記載されており、利用者が望まれる生活を介護計画に取り入れています。作成した介護計画については、利用者や家族による同意のサインを得ています。職員全員が計画内容を把握しています。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じた見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画は6ヶ月毎に見直しを行っています。また介護認定の変更や30日以上入院になった場合、また利用者の状態に変化があった場合は都度、見直しを行っています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援（事業所及び法人関連事業の多機能性の活用）					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	隣接特養の行事にも家族と共に参加しています。高校生の吹奏楽演奏、ゴスペルのコンサートを聴きに行き、特養内の喫茶店も利用しています。またクラブにも参加しています。屋上菜園を利用し、野菜などの栽培を楽しんでいます。さらに診療所の医師、看護師の応援も得ています。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援の協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	家族の希望に応じて、かかりつけ医の受診を支援しています。併設施設の主治医より週1回往診をしてもらい、毎週木曜日には歯科医の訪問があり、義歯の調整や歯の手入れをもらっています。緊急時や夜間時対応の体制も整っています。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	終末期や重度化した場合の対応については、医師、看護師、介護職員、家族と共に話し合い、意見を確認し方針を決定して支援しています。これまでに看取りの機会はありませんが、必要時には家族に説明を行います。また、マニュアルの作成も検討中です。現在は重度化された場合、併設施設への入所や病院へ入院する支援を行っています。		



外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	職員一人ひとりが勉強会やミーティングの際にプライバシーに関する意識の向上を図り、また、日々の介護の場面でも利用者を尊重した対応を心がけています。誇りやプライバシーには注意を払い、言葉遣いへの注意を心がけています。非常勤職員も含めて秘密保持に関する誓約書をとっています。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	毎日の日課は決まっていますが、その時々に合わせてお天気が良ければ散歩に出かける等、臨機応変に対応しています。朝の体操や花の水やり、併施設屋上での野菜の植え付けや収穫、書道が得意な方にはホームでの行事などの機会に、式次第を書いてもらうことがあります。		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	副食は昼、夜共併施設の厨房より届けられます。ホームでは朝食のスープを作る等、ごはんや汁物はホーム内で調理しています。手作りおやつの日や、お好みの献立で昼食を調理する時もあります。職員も一緒に食事をしながらさりげなく支援しています。お味噌汁の味見やお皿を拭いたりする等、利用者も一緒に楽しんで行っています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴は利用者の希望に沿って支援しています。毎日入浴される方、夜に入る方にも対応しています。ゆっくりとくつろいで入って頂けるよう、手すりやボード、椅子などにも配慮しています。シャンプーも、利用者がそれぞれ選んだ商品を使用できるように支援しています。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	本を読む方、毎日3回散歩に出る方、花の水やり、料理の味付け、近隣で買い物を楽しむ方、書道の好きな方はボランティアの指導で練習に励みリビングに展示したりする等、それぞれの楽しみを支援しています。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	天気の良い日には散歩に出かけて野菜の100円ショップで買い物に出かけています。また併設特養でお茶を楽しんだり、コンサートを聞いたりしています。その他、外食、花見、初詣など、毎月行事を催し、出かける機会を作っています。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	前回の評価で改善項目になっていた施錠について、運営推進会議で提案し議論してもらいました。また家族から意見をいただき改善に向けて取り組んでいます。利用者や家族の安全と安心への配慮をしながら検討しているところですが、開錠までには至っていない状況です。	○	安全に配慮しながら、鍵を開錠することが求められます。今後は中庭の鍵をはずすことから取り組まれてははいかがでしょうか。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	災害時マニュアルを作成しています。年2回以上、消防署の協力を得て併施設と合同で避難訓練、消火器の使い方などを練習しています。防災委員会が併施設と合同で設置され、災害時の対応などについて検討を重ねています。しかし、水や食料など備蓄については準備されていない状況です。	○	災害対策として、非常用食料や水を備蓄が求められます。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	利用者一人ひとりの食事摂取量や水分摂取量を把握しています。旬の野菜を中心にバランス良く献立を立てています。体調面に配慮した食事量も考えており、提供した食事内容については併施設の管理栄養士のカロリー計算がされています。食欲のない方については盛り付け等で、食欲が増すように工夫しています。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	リビングから周辺の山々を眺めることができ、ホーム周辺は自然豊かな環境です。中庭やベランダ、トイレ、リビングはゆったりとしたスペースも確保されています。ホーム内には利用者が作成した書道や絵画がきれいに飾られています。中央のオープンキッチンでは利用者と共に料理作りができ、生活感があります。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
30	83	<b>○居心地よく過ごせる居室の配慮</b> 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	各居室はゆったりとした広さで、洗面、クローゼットが設置されています。利用者は自宅から家具や手芸品、家族の写真、位牌、自分の作品を飾るなど、思い思いの居室になっています。馴染みの品々に囲まれ、清潔な部屋でゆったりと過ごされています。		